

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36104	ファッションビジネス論 Fashion Business	杉浦菜穂子			2	選択	1、2後期

科目の概要

ファッション系の検定試験における出題範囲の内容を解説する。前半はファッションビジネス能力検定試験、後半はファッション販売検定試験の内容を対象とし、検定合格を目指して対策講座を展開する。ICT活用システムGFP(Gakusen Fashion Prime)を使用し、問題を繰り返し解くことにより学修の定着を図る。社会的に自立していく上で必要な専門分野の検定取得を目標に専門的知識を活用し、自らの可能性を広げながら、ファッションビジネス分野を総合的に学修する。また、ファッション系検定対策として、これまで獲得した知識を活用して、応用問題の解決につなげていく。これはディプロマポリシーの②と③に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① ファッション消費、マーケティング、マーチャンダイジング、流通などビジネスについて知り、説明できることを目的とする。 ② ファッションデザイン、コーディネート、商品知識などファッション造形について知り、説明できる様になることを目的とする。 ③ ファッション販売について、業界のながれ、販売現場における業務内容と仕事のながれを学修する。 ④ アパレル製品の商品知識について、色、素材、アイテムの種類について解説する。	① ファッション消費、マーケティング、マーチャンダイジング、流通などビジネスについて内容を記述することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ② ファッションデザイン、コーディネート、商品知識などファッション造形について内容を記述することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ③ 業界のながれをとらえ、販売知識の実際が理解でき、内容を説明できる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ④ アパレル製品の商品知識を修得し、製品の概要をとらえ、内容を説明できる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	検定合格を目指し、授業で学修した内容を復習し、業界の実状と照らし合わせながら積極的に学修を進める。
	働きかけ力	
	実行力	達成目標（検定合格）に向けて、傾向と対策を練り、目標達成のために行動する。
考え抜く力	課題発見力	自分の苦手な分野を克服するために課題を見つけ、検定合格ラインを目指す。
	計画力	検定日に合わせて、事前学修の計画を立て、途中で点検しながら修正し進める。
	創造力	検定合格のために自己学修方法を工夫して考え、実践する。
チームで働く力	発信力	わからない授業内容や受検勉強の取り組み方について質問する。
	傾聴力	教員の話はしっかりと聞き、要点は筆記する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「ファッションビジネス能力検定」、（財）日本ファッション教育振興協会編
「ファッション販売能力検定」、（財）日本ファッション教育振興協会編

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
ファッションビジネスは、素材産業から、服の企画・生産・卸販売、そして百貨店などの小売り産業まで、広範囲な分野に及ぶ。よって常に社会情勢、ファッションニュースに注視し、市場調査を行う。 アパレル製品に目を向けて、商品の種類や特徴、デザイン性について考えよう。また、アパレル製品売り場にも足を運び、ショップのあり方や販売員の接客の様子、商品構成をとらえよう。	受講者全員、検定試験受検のこと。 検定料：ファッションビジネス検定ー約10,000円（テキスト代含む） ファッション販売能力検定ー約10,000円（テキスト代含む） 受講者数によって減額する場合があります。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			pisa型学力を見るため、授業内で得た知識を活かしてファッションライフにどう展開させるかレポートにまとめ、結果を反映する：10点満点 模擬試験結果を反映する：10点満点×2検定 ➤模擬試験結果を見直すことで復習につなげる。 これまでに獲得した知識を活用して、試験問題が解答できるように応用力を身につける。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			検定試験結果を反映する。 ・2検定合格：60 ・1検定合格：50（不合格の検定の1領域が合格） ・1検定合格：40（不合格の検定の2領域ともに不合格）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：授業で学修した内容を復習するために、業界の実状を積極的にとらえることができたか。 実行力：検定に向けて、傾向と対策を練り、目標達成のために行動できたか、検定結果より評価する。 課題発見力：自分の苦手な分野を克服するために課題を見つけて、学修を進めることができたか、検定結果より評価する。 計画力：検定に向けて、事前学修の計画を立て進めることができたかを計画書より評価する。 創造力：検定合格のために自己の学修方法を工夫して考え、実践できたか。 発信力：わからない点や受検勉強の取り組み方について質問できたか。 傾聴力：教員の話のしっかりと聞き、要点は筆記しながら取り組むことができたか。 規律性：遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A：ファッション販売の概要をとらえ、販売アイテムについて理解し、商品の特徴が把握できている。 ファッションビジネス検定、ファッション販売検定の両方を合格している。 S：上記の評価に加え、授業での積極的な取り組み姿勢が見られる。	B：ファッションビジネス検定、ファッション販売検定のいずれかが合格している。 C：前向きとは言えないが検定の問題は実施していた。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	授業の概要について、 検定の内容、受験の流れを説明する。 ファッションビジネス検定 1章 ファッションビジネスの概要	講義 授業の概要について、 検定の内容、受験のながれを説明し、計画表を記入する。	授業の受け方と検定の概要を理解することができる。	(予習) シラバスを読み、授業内容を確認する。 (復習) 検定試験内容1章を復習する。	180	計画力 傾聴力 規律性
2	・ファッションビジネス検定試験概要 ファッションビジネス知識 2～5章 ・ファッション生活・ファッション消費	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	消費者行動とファッション表現について説明することができる。	(予習) テキスト 2～5章を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
3	ファッションビジネス知識 6～8章 ファッション造形知識 1章 ・ファッション流通・ファッション産業の職種概要	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	流通に関する基礎知識がわかり、ファッションショップの仕組みと業務について説明することができる。	(予習) テキストファッションビジネス知識 6～8章 ファッション造形知識 1章を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
4	ファッション造形知識 2～5章 ・ファッションコーディネート ファッション商品知識	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	コーディネートの基礎知識がわかり、ビジネスにおけるファッションスタイリング提案ができる。	(予習) テキストファッション造形知識 2～5章を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
5	ファッション販売能力検定 1章・2章 ・ファッション販売知識・ファッション販売技術	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	販売スタッフに求められる力、求められる知識と技術について説明することができる。	(予習) テキスト 1～2章を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
6	3章 商品知識① ・アイテムの知識・インナーウェアの知識 ・服飾雑貨・素材の種類と加工・シルエットの知識	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	婦人服、紳士服、ニットウェア、カットソー、ベビー・子供服、インナーウェア、服飾雑貨の種類の問題に解答することができる。	(予習) テキスト 3章1～5を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
7	3章 商品知識② 4章 売り場づくり ・衣服の構成とディテール・柄の種類と特徴 ・色彩と配色の知識・サイズの知識	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	衣服の構成とディテール、柄の種類と特徴について説明することができる。	(予習) テキスト 3章6～11 4章を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力
8	5章 マーケティング 6章 販売スタッフの業務 ・マーケティングの基礎知識 ・ファッション店舗のマーケティング ・販売業務と付帯業務 ・商品管理	講義 本日の学修に対するGFPを活用した小テストをパソコンを使用して実施後、解説を含めたフィードバックを行う。	マーケティングの役割、店舗を取り巻く環境とマーケティングについて説明することができる。	(予習) テキスト 5章・6章を読み、ファッション用語を調べる。 (復習) 小テストの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ファッションビジネス 能力検定試験模擬試験 ファッションビジネス 知識	講義と実技 模擬試験後、解答および試験内容の解説を含めたフィードバックを行う。	過去問題による模擬試験で、検定の概要がわかる。	(予習) 小テストの見直しをする。 (復習) 模擬の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 実行力 課題発 見力
10	ファッションビジネス 能力検定試験模擬試験 ファッション造形知識	実技 オンデマンド 模擬試験後、解答および試験内容の解説を含めたフィードバックを行う。	過去問題による模擬試験で、検定の概要がわかる。	(予習) 小テストの見直しをする。 (復習) 模擬の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 実行力 課題発 見力
11	ファッションビジネス 能力検定試験 ファッションビジネス 知識	実技 試験後、試験内容の解説を含めたフィードバックを行う。	ファッションビジネス知識についての問いに解答することができる。	(予習) 模擬試験の見直しをする。 (復習) 試験の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 実行力 課題発 見力
12	ファッションビジネス 能力検定試験および解答解説 ファッション造形知識	実技 試験後、試験内容の解説を含めたフィードバックを行う	ファッション造形知識についての問いに解答することができる。	(予習) 模擬試験の見直しをする。 (復習) 試験の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 実行力 課題発 見力
13	ファッション販売能力 検定試験模擬試験 A科目 B科目	講義と実技 模擬試験後、解答および試験内容の解説を含めたフィードバックを行う	過去問題による模擬試験で、検定の概要がわかる。	(予習) 小テストの見直しをする。 (復習) 模擬の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 実行力 課題発 見力
14	ファッション販売能力 検定試験 A科目	実技 試験後、試験内容の解説を含めたフィードバックを行う。	ファッション販売知識、マーケティング、店舗運営管理に関する問いに解答することができる。	(予習) 模擬試験の見直しをする。 (復習) 試験の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 実行力 課題発 見力
15	ファッション販売能力 検定試験 および解答解説 B科目	実技 試験後、試験内容の解説を含めたフィードバックを行う。	ファッション販売技術、商品知識、売り場づくりに関する問いに解答することができる。	(予習) 模擬試験の見直しをする。 (復習) 試験の答え合わせと間違いの見直しを行い、間違えた問題をやり直す。	180	主体性 実行力 課題発 見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力